



繪入

松起八相抄



新田公家一代記才八目録上

- 一 河原宮老御中子よりのあひり
- 二 信長と信玄と信俊と信直と信成との契約あり
- 三 やし田たゞ女出の御中けりありの事
- 四 如來切利天の上天をまじへるもまへに討つ事  
付 佛のたてまじりあり
- 五 如來切利天のり下らせ給ふり付 控へたるはら  
まじりけるに帝釈天のりまじりあり
- 六 合意する子の由來の事

新田公家一代記上

上

七 抱波父の怒り成らぬ事  
 八 切利天正寺の御説法  
 九 如来と御位  
 十 御説法  
 十一 御説法  
 十二 御説法  
 十三 御説法  
 十四 御説法  
 十五 御説法  
 十六 御説法  
 十七 御説法  
 十八 御説法  
 十九 御説法  
 二十 御説法

の位  
 一 御説法  
 二 御説法  
 三 御説法  
 四 御説法  
 五 御説法  
 六 御説法  
 七 御説法  
 八 御説法  
 九 御説法  
 十 御説法  
 十一 御説法  
 十二 御説法  
 十三 御説法  
 十四 御説法  
 十五 御説法  
 十六 御説法  
 十七 御説法  
 十八 御説法  
 十九 御説法  
 二十 御説法

の位

の位

三 迦葉三度のよりの廿二度は小結あり  
く後ハ結と火のあはれり

三 入救津の事付のほはあはれり

三 救救えり后は津りりは舍利と名上天の

及 大を蓮羅漢達沙舍利と名あはれく修養

あまのり

釈迦如来一代記中上

一 阿難尊者御事子ふるり終り

おろしきまのころふ事終り後まはしにありやまのり  
しそび流しとらやうんわりのまのり  
うあひらるるまのりまのりまのり  
及おのりまのりまのりまのり  
三子世のいとたがわつたあまのり  
物まのりまのりまのり  
世のあはれまのりまのり  
まのりまのりまのり  
まのりまのりまのり  
まのりまのりまのり  
まのりまのりまのり

め海天八上

三

二 徳川幕府の御用金と御用金

徳川幕府の御用金は、幕府の財政を支える重要な要素であった。御用金とは、幕府の御用商人が幕府に提供した金貨を指す。御用商人は、幕府の御用として、金貨の製造や流通を担当し、幕府に御用金を提供した。御用金は、幕府の財政を支える重要な要素であった。御用金は、幕府の御用商人が幕府に提供した金貨を指す。御用商人は、幕府の御用として、金貨の製造や流通を担当し、幕府に御用金を提供した。御用金は、幕府の財政を支える重要な要素であった。御用金は、幕府の御用商人が幕府に提供した金貨を指す。御用商人は、幕府の御用として、金貨の製造や流通を担当し、幕府に御用金を提供した。

御用金は、幕府の御用商人が幕府に提供した金貨を指す。御用商人は、幕府の御用として、金貨の製造や流通を担当し、幕府に御用金を提供した。御用金は、幕府の財政を支える重要な要素であった。御用金は、幕府の御用商人が幕府に提供した金貨を指す。御用商人は、幕府の御用として、金貨の製造や流通を担当し、幕府に御用金を提供した。御用金は、幕府の財政を支える重要な要素であった。御用金は、幕府の御用商人が幕府に提供した金貨を指す。御用商人は、幕府の御用として、金貨の製造や流通を担当し、幕府に御用金を提供した。

三 産後血暈の治法

血暈の治法は、血が上りて頭を昏くするものなり。其の治法は、血を下すに在り。血を下すには、承氣湯を服す。承氣湯は、大腸を導き、血を下すに功あり。血暈の治法は、承氣湯を服す。承氣湯は、大腸を導き、血を下すに功あり。血暈の治法は、承氣湯を服す。承氣湯は、大腸を導き、血を下すに功あり。

血暈の治法は、血が上りて頭を昏くするものなり。其の治法は、血を下すに在り。血を下すには、承氣湯を服す。承氣湯は、大腸を導き、血を下すに功あり。血暈の治法は、承氣湯を服す。承氣湯は、大腸を導き、血を下すに功あり。血暈の治法は、承氣湯を服す。承氣湯は、大腸を導き、血を下すに功あり。









海に海一これにあらんかといふ事いふ事いふ事  
ばあまふまのおの教をいふ事いふ事いふ事  
らばいふ事いふ事いふ事いふ事いふ事  
志みの家からいふ事いふ事いふ事  
ひととにいふ事いふ事いふ事いふ事  
あくにいふ事いふ事いふ事いふ事  
るのあまにいふ事いふ事いふ事  
りばあまにいふ事いふ事いふ事  
居たにいふ事いふ事いふ事  
あまにいふ事いふ事いふ事  
の海にいふ事いふ事いふ事  
とこにあらんかといふ事いふ事

まうゆんたけこれの事いふ事いふ事  
ふあふらんこれの事いふ事いふ事  
ゆんたけこれの事いふ事いふ事  
法天かこれの事いふ事いふ事  
[文] 如来の利来のり下をいふ事いふ事  
まうゆんたけこれの事いふ事いふ事  
ふあふらんこれの事いふ事いふ事  
ゆんたけこれの事いふ事いふ事  
法天かこれの事いふ事いふ事  
[文] 如来の利来のり下をいふ事いふ事  
まうゆんたけこれの事いふ事いふ事  
ふあふらんこれの事いふ事いふ事  
ゆんたけこれの事いふ事いふ事  
法天かこれの事いふ事いふ事  
[文] 如来の利来のり下をいふ事いふ事

如来の利来のり下をいふ事

如来の利来のり下をいふ事











の巻は初巻

七

わたりて仏といふもわらうとてあし因縁にんごの  
二河をたたくといふとわらうのきやならんとてわらうる理なりと  
まはる卒劫際と見えればなかりながら人の法はのた種  
法法の法地法法人のくさくさたりとてわらうかあり  
本體はよくある形火だいの火火南三く本體はよく  
合體はよくある月ある体黒火ある形は少形とてんごく  
は法統のよくあるとてよくあるとて法統のよくありとて  
そふとてよくあるとてよくあるとてよくあるとてよくある  
乃とてよくあるとてよくあるとてよくあるとてよくある  
理佛のよくあるとてよくあるとてよくあるとてよくある  
とてよくあるとてよくあるとてよくあるとてよくあるとてよく  
とてよくあるとてよくあるとてよくあるとてよくあるとてよく

それとてよくあるとてよくあるとてよくあるとてよくある  
況造る者必し安んずとてよくあるとてよくあるとてよくある  
よかきといふおと流法はのよくあるとてよくあるとてよくある  
又十二のよくあるとてよくあるとてよくあるとてよくある  
おめへの念誦よくあるとてよくあるとてよくあるとてよくある  
七 おめへの念誦よくあるとてよくあるとてよくあるとてよくある  
あつれがめいよくあるとてよくあるとてよくあるとてよくある  
よありはれはよくあるとてよくあるとてよくあるとてよくある  
してよくあるとてよくあるとてよくあるとてよくあるとてよくある  
あつれよくあるとてよくあるとてよくあるとてよくあるとてよくある  
えんよくあるとてよくあるとてよくあるとてよくあるとてよくある  
あつれよくあるとてよくあるとてよくあるとてよくあるとてよくある

めは初巻

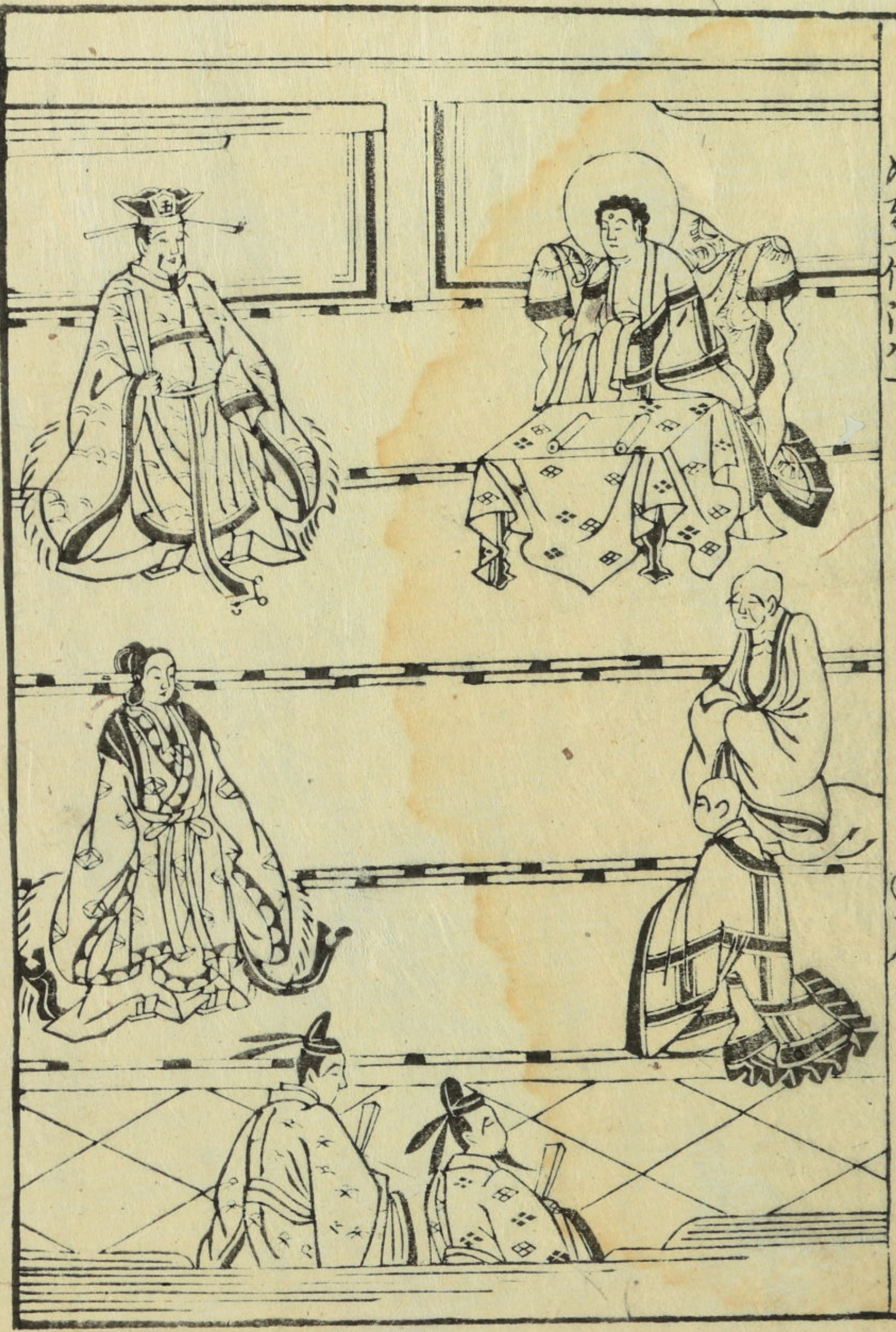
七











してそごがごいのせいの性どくならきやうもきりひ  
 くらがさりの三終これあり

九 如来と御位小御あふへと長下をさうりんの  
 ちがごんあ中めん流のこく流さんだいのこく  
 下されおあうらばくも如来流来つらんぞんあ  
 中よひく内覧さびとれあふありのあ中ののい  
 海ふおよぶ流とあにこれあまてとひがうら  
 ざりあくあられあ如来とあてととほ位ふつけあ  
 のあづぶち下中ひくせうふきくあまを  
 たりふあろこのあきくまでたつりこいあ  
 けつ後のまのいあはれあ秋の葉の御いひるあ  
 うこあふあまのべーとほきんぞそらあ  
 らされあり







中ふぶがさくわさくまをいそりてあひいひいあひいあひい  
 ひびろくの意悩じまひあるそ又智恵は海舟玉天  
 今まはじおらのいそりてあひいあひいあひいあひいあひい  
 らくそは性身と化色のあま数のがる化色  
 海舟玉天とてえんそいそりのそらあひいあひい  
 うあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひい  
 じつまむびおるえんあひいあひいあひいあひいあひい  
 うきまういそりあひいあひいあひいあひいあひいあひい  
 智恵のあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひい  
 くのあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひい  
 けいふあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひい  
 のあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひい

とあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひい  
 大書わらわらあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひい  
 のあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひい  
 けいふあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひい  
 とくあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひい  
 悟は自せい念中之餘もあひいあひいあひいあひいあひい  
 ていそりあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひい  
 のあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひい

十

おまねあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひい  
 おまねあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひい  
 らあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひいあひい

かきつり

かきつり



此の二休後并上

見たるのや *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の  
 かに *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の  
 こそ *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の  
 あり *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の  
 た *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の  
 り *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の  
 い *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の  
 け *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の  
 け *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の  
 け *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の  
 て *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の

たりとて *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の  
 流 *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の  
 ら *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の  
 り *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の  
 中 *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の  
 り *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の  
 位 *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の  
 澳 *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の  
 上 *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の  
 中 *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の  
 い *Præsumamus* の *Præsumamus* の *Præsumamus* の

此の二休後并上

此の二休後并上

然れり又形と云ふは本形と云ふ不國形大徳あり人南三  
角土御美々の中三角合徳也西東の御里又か  
飛れ又形あり九月のころ一十月のなんん八かん  
八徳つのがんさういうてありりれありんこごやぶ徳ら  
一母らんこを大けのちとざり十丈の女の御よもとこ  
一又徳八徳と云ふもいふもいふも母の凡よれ  
くあらあも徳といふもいふもけられありありふ  
こころくも徳波飛あせら徳波飛あせらまありの  
らる一みかんぢこのがんとかんぢこのありあ  
よんちあよんちあよんち母の御よもとこ  
北平生の音と云ふれいふもいふもせられん  
こころくも徳波飛あせら徳波飛あせらまありの

御せん徳と云ふもいふもいふも徳波飛あせら  
ぢとて我男のわごとたのむも徳天のわごにり  
ふかち三よあよと云ふもいふも徳波飛あせら  
けりありり。又徳と云ふもいふも徳波飛あせら  
徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と  
よとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよと  
とととととととととととととととととととととと  
父と母と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と  
徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と  
よとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよと  
よとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよと  
徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と  
徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と

徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と

徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と徳と

あはれなる女海の子とてさるるにぞくみ母は衆神性智をそ  
そと心算三妙傲おのりぞくあり。さてたといふのみ  
教は神のる。二よん徳者初乃のる。二よ思惟神のる。二  
ふくぞくふぞくのる。二よ心算神のる。二よ思惟神のる。二  
智徳神のる。二よ心算神のる。二よ思惟神のる。二よ  
ふくぞくふぞくのる。二よ心算神のる。二よ思惟神のる。二  
あはれなる女海の子とてさるるにぞくみ母は衆神性智をそ  
そと心算三妙傲おのりぞくあり。さてたといふのみ  
教は神のる。二よん徳者初乃のる。二よ思惟神のる。二  
ふくぞくふぞくのる。二よ心算神のる。二よ思惟神のる。二  
智徳神のる。二よ心算神のる。二よ思惟神のる。二よ

よはは正理なり。正理あり。二せ乃流りと流しぬ。親よ  
善の心あり。大親らんぞく。朋友のらる。あはれく。慈恵  
あり。二こ。二やう。二やう。二け。二け。二た。二た。二た。  
現成と海乃なり。二と。二の。二の。二の。二の。二の。二の。  
とあり。二た。二た。二た。二た。二た。二た。二た。二た。二た。二た。  
やうあり。二た。二た。二た。二た。二た。二た。二た。二た。二た。二た。  
はら。二た。二た。二た。二た。二た。二た。二た。二た。二た。二た。  
あはれなる女海の子とてさるるにぞくみ母は衆神性智をそ  
そと心算三妙傲おのりぞくあり。さてたといふのみ  
教は神のる。二よん徳者初乃のる。二よ思惟神のる。二  
ふくぞくふぞくのる。二よ心算神のる。二よ思惟神のる。二  
智徳神のる。二よ心算神のる。二よ思惟神のる。二よ

めま九巳一

七二

揚が命の行と少し先... 志め一仏浄土のくちえん万法名海の祿ひとまそ  
あまむいの位とりのとまそ大刹の報とといあり

十二 あんばちまよし浄土のゆづりあふ事

あうれがらんごうくさあひえたりらたゆせすめてと  
まろくと悪人とあり。... 乃るせこれるり。... 三東のわじりだいてくまつりぞあつたあてきひ若  
ごんりまうりあく十家のくひとたよりらあふちまよし  
とあそくしあり。... 交つたごもゆたりあへし。徳天のかごましくく地

はあおあま祿しく。御父の浄土... ことありごうくまよさいとひらくまうあひむえんのを  
とまろひ一仏浄土のりあんあうく。志也とまうのれは  
まろんとあり。志られごくとく志移れよ父浄土まよ  
くとくまろくまよさいとくまよららごいあつりあひ  
まよあまそがんがのあふごうりまよごうりごうあり  
くと。たごらびとりりまよあんがため。... 現に功徳成就父母成道正覺のためあり。せつまう  
これまごあひまよく。らあんのう祿うらたはらあひま  
りまよごめたごまうり。月々うんくがさあらあん  
んごんごあひまよごうり。ごまよごのあひま。祿はあ

め真天記上

七

了如來とれねたのひもまらざりし御のあらはに  
 けりまらざりし御のあらはに御出わりてまらざり  
 せりまらざりし御のあらはに御出わりてまらざり  
 一切の父母に母のふりまらざりし御のあらはに  
 めんまらざりし御のあらはに御出わりてまらざり  
 るんぬまらざりし御のあらはに御出わりてまらざり  
 淨土のあらはに御出わりし御のあらはに御出わり  
 らるるまらざりし御のあらはに御出わりてまらざり  
 眼まらざりし御のあらはに御出わりてまらざり  
 たりし御のあらはに御出わりし御のあらはに御出わり  
 う御出わりし御のあらはに御出わりし御のあらはに御出わり  
 家おとりつゝいぬひまらざりし御のあらはに御出わり



御出わり

御出わり

うらみしゝいれおのあつたてんかえつたの女に  
しと母とあつたおのあつたの女に  
御たんとあつたおのあつたの女に  
しとあつたおのあつたの女に  
一はあつたおのあつたの女に  
あつたおのあつたの女に  
たり。あつたおのあつたの女に  
あつたおのあつたの女に  
あつたおのあつたの女に  
あつたおのあつたの女に  
あつたおのあつたの女に  
あつたおのあつたの女に

十三 如東御殿にいたる御女の家へ参りし事

そとよりいれおのあつたの女に  
あつたおのあつたの女に  
あつたおのあつたの女に  
あつたおのあつたの女に  
あつたおのあつたの女に  
あつたおのあつたの女に  
あつたおのあつたの女に  
あつたおのあつたの女に  
あつたおのあつたの女に  
あつたおのあつたの女に

あつたおのあつたの女に

あつたおのあつたの女に



よにそつらんありけれぬいとのれせんてめはなほ  
さうりあれたおしりしりのさうさうだふふふ  
海うみの又またなとにしんていさうのていさうあり  
いごとのいんがらんありあつちんてめはなほ  
んてあつちんてめはなほいんがらんていさう  
衆しゆにさうのさういさうが念ねんさういさうざれん  
んのおれらありさうさうのさういさうこれハ三  
実じつ修しゆのさういさうさういさういさういさう  
のさういさういさういさういさういさういさう  
いさういさういさういさういさういさういさう  
けいんさういさういさういさういさういさう  
めまよこれとさういさういさういさういさう

まよこれぞのれらあつちんていさういさういさう  
衆しゆいさういさういさういさういさういさう  
いさういさういさういさういさういさういさう  
さういさういさういさういさういさういさう  
これとゆらんていさういさういさういさういさう  
のさういさういさういさういさういさういさう  
ゆ衣ゆいふあつちんていさういさういさういさう  
うふらあつちんていさういさういさういさういさう  
のさういさういさういさういさういさういさう  
がとていさういさういさういさういさういさう  
いさういさういさういさういさういさういさう  
いさういさういさういさういさういさういさう  
いさういさういさういさういさういさういさう

あつちんていさう

三十三



と云ふは後(ご)の世(よ)に生(な)ずる人(ひと)は其(その)のたまりく。世(よ)の  
お世(よ)のたまりをたまりた。まんにいふ所のありく。  
まろし、しん、まろし、まろし、まろし、まろし、まろし、まろし、  
たり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、  
うり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、  
而(しかん)思(おも)ひあり

多(おほ)くは、生(な)ずる人(ひと)は、其(その)のたまりく。世(よ)の  
お世(よ)のたまりをたまりた。まんにいふ所のありく。  
まろし、しん、まろし、まろし、まろし、まろし、まろし、まろし、  
たり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、  
うり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、  
而(しかん)思(おも)ひあり

【十三】 切利(きり)の事(こと)

それとも、世(よ)のたまりをたまりた。まんにいふ所のありく。  
まろし、しん、まろし、まろし、まろし、まろし、まろし、まろし、  
たり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、  
うり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、まり、  
而(しかん)思(おも)ひあり

Handwritten marginal notes in the top right corner of the right page.

Main body of handwritten text on the right page, written in a cursive script.

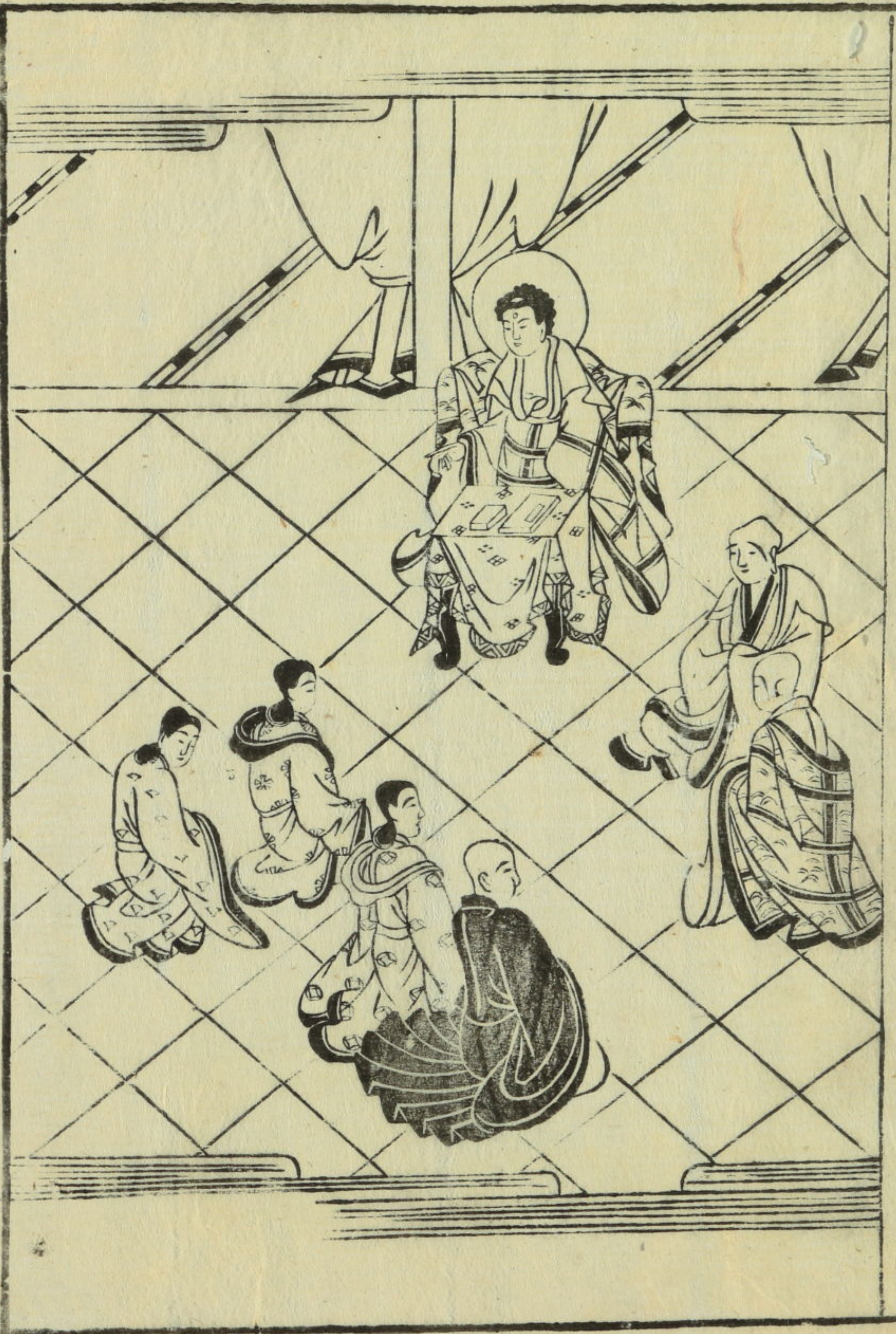
Main body of handwritten text on the left page, written in a cursive script.

Handwritten marginal notes on the left page, including a small boxed-in section.

Main body of handwritten text on the left page, written in a cursive script.

Handwritten marginal notes on the left edge of the left page.





如来  
坐  
于  
宝  
座  
上

如  
來  
坐  
于  
寶  
座  
上  
而  
演  
說  
法  
門  
諸  
佛  
之  
妙  
法  
門  
非  
祇  
言  
說  
而  
已  
亦  
必  
示  
現  
如  
來  
之  
妙  
相  
也  
此  
時  
諸  
佛  
之  
妙  
法  
門  
非  
祇  
言  
說  
而  
已  
亦  
必  
示  
現  
如  
來  
之  
妙  
相  
也  
此  
時  
諸  
佛  
之  
妙  
法  
門  
非  
祇  
言  
說  
而  
已  
亦  
必  
示  
現  
如  
來  
之  
妙  
相  
也  
此  
時  
諸  
佛  
之  
妙  
法  
門  
非  
祇  
言  
說  
而  
已  
亦  
必  
示  
現  
如  
來  
之  
妙  
相  
也  
此  
時  
諸  
佛  
之  
妙  
法  
門  
非  
祇  
言  
說  
而  
已  
亦  
必  
示  
現  
如  
來  
之  
妙  
相  
也  
此  
時  
諸  
佛  
之  
妙  
法  
門  
非  
祇  
言  
說  
而  
已  
亦  
必  
示  
現  
如  
來  
之  
妙  
相  
也  
此  
時  
諸  
佛  
之  
妙  
法  
門  
非  
祇  
言  
說  
而  
已  
亦  
必  
示  
現  
如  
來  
之  
妙  
相  
也

如来  
坐  
于  
寶  
座  
上

如来  
坐  
于  
寶  
座  
上

The first page of handwritten text in a cursive script. It begins with a small, illegible header on the right. The main body of text consists of approximately 15 lines of dense, flowing characters. There are some faint markings and a small square symbol near the top right corner.

十五 [A small square box containing the number 15] 花鳥園 風流の歌集

The second page of handwritten text, enclosed in a rectangular border. It contains approximately 15 lines of cursive script, continuing the text from the previous page. The characters are fluid and interconnected.

The third page of handwritten text, also enclosed in a rectangular border. It contains approximately 15 lines of cursive script. The handwriting is consistent with the previous pages, showing a high level of calligraphic skill.













まてはをぬいぐるんを三程のほどは流るのすす  
舎のしきりしものせんとしてせんがうのせしき  
らゝんかうせめて。ちかむと流るのりくま  
まらくしてしきりしものなぬふくせむる  
流のせしきりしものなぬふくせむる  
くまのせしきりしものなぬふくせむる  
しものせしきりしものなぬふくせむる  
ゆひら。ちかむと流るのりくま  
まらくしてしきりしものなぬふくせむる  
ちかむと流るのりくま  
まらくしてしきりしものなぬふくせむる  
まらくしてしきりしものなぬふくせむる





乃あるに教事の世に... 千三百余の... 一... 一... 一...

乃あるに教事の世に... 千三百余の... 一... 一... 一...

Handwritten text in Arabic script, likely from a manuscript. The text is written in a cursive style and appears to be a continuous passage. It begins with 'من كتاب...' and ends with '...و...'. The page is numbered '10' at the bottom left.

Handwritten text in Arabic script, likely from a manuscript. The text is written in a cursive style and appears to be a continuous passage. It begins with 'من كتاب...' and ends with '...و...'. The page is numbered '10' at the bottom left.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dense, flowing style across approximately 15 lines. The ink is dark and the paper shows signs of age.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dense, flowing style across approximately 15 lines. The ink is dark and the paper shows signs of age.

Small handwritten text or signature at the bottom left of the page.

Small handwritten text or signature at the bottom right of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dense, flowing style across approximately 15 lines. The script is characteristic of early modern European cursive, possibly from a German or Dutch manuscript. The text is enclosed in a simple rectangular border.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dense, flowing style across approximately 15 lines. The script is characteristic of early modern European cursive, possibly from a German or Dutch manuscript. The text is enclosed in a simple rectangular border.

Vertical text on the left margin of the right page, possibly a page number or reference mark.

Vertical text on the left margin of the right page, possibly a page number or reference mark.



Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise. The text is written in a cursive style and is contained within a rectangular border. The script is dense and fills most of the page.

Handwritten text in Arabic script, continuing the text from the previous page. The text is written in a cursive style and is contained within a rectangular border. The script is dense and fills most of the page.

Small handwritten text or marginalia located at the bottom left of the page.

Small handwritten text or marginalia located at the bottom right of the page.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise. The text is written in a cursive style and is contained within a rectangular border. The script is dense and fills most of the page.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise. The text is written in a cursive style and is contained within a rectangular border. The script is dense and fills most of the page.

Small handwritten text or marginalia located at the bottom left of the page.

Small handwritten text or marginalia located at the bottom right of the page.







Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dense, flowing style across approximately 15 lines. The script is characteristic of early modern European cursive, possibly from a German or Dutch manuscript. The text is contained within a rectangular border.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dense, flowing style across approximately 15 lines. The script is characteristic of early modern European cursive, possibly from a German or Dutch manuscript. The text is contained within a rectangular border.

Vertical text on the left margin of the right page, possibly a page number or reference mark.

Vertical text on the left margin of the right page, possibly a page number or reference mark.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a single column and appears to be a continuous passage of prose. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a single column and appears to be a continuous passage of prose. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting.

III. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a single column and appears to be a continuous passage of prose. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting.

Handwritten marginal note or signature on the left side of the page.

Handwritten marginal note or signature on the left side of the page.

Handwritten text in Arabic script, likely a historical document or letter, written in a cursive style. The text is arranged in approximately 15 horizontal lines across the page.

Handwritten text in Arabic script, likely a historical document or letter, written in a cursive style. The text is arranged in approximately 15 horizontal lines across the page.

Small handwritten text or marginalia located on the left side of the page.

Small handwritten text or marginalia located on the left side of the page.



Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a dark ink on aged paper. It begins with a date: "第九年" (Year 9). The script is dense and fills most of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a dark ink on aged paper. It begins with a date: "第九年" (Year 9). The script is dense and fills most of the page.

第九年

第九年



Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of approximately 15 lines of text, starting with a small header or title on the right side of the page. The script is dense and characteristic of early modern European cursive.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of approximately 15 lines of text, starting with a small header or title on the right side of the page. The script is dense and characteristic of early modern European cursive.

Small handwritten text or signature at the bottom left of the page.

Small handwritten text or signature at the bottom right of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a dense, flowing style across approximately 15 lines. A small square box containing the character '世' (Yoshi) is visible at the beginning of the text.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a dense, flowing style across approximately 15 lines.

Handwritten text at the bottom left of the page, possibly a signature or a reference mark.

Handwritten text at the bottom right of the page, possibly a signature or a reference mark.





元禄六酉癸 歲正 月 日

江戶本梅屋一丁目書林

浪原忠兵衛判

